



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月26日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 寿和
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 足立 高則 (TEL) 058(271)6521
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日 配当支払開始予定日 平成25年9月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年12月期第2四半期 | 2,650 | △13.2 | 78 | △48.9 | 93 | △44.6 | 49 | △47.0 |
| 24年12月期第2四半期 | 3,051 | 8.6 | 153 | 67.7 | 167 | 53.7 | 92 | 57.0 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期第2四半期 | 2.91 | — |
| 24年12月期第2四半期 | 5.49 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年12月期第2四半期 | 10,424 | 9,228 | 88.5 |
| 24年12月期 | 10,634 | 9,206 | 86.6 |

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 9,228百万円 24年12月期 9,206百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 25年12月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 25年12月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,380 | 4.6 | 260 | 5.3 | 280 | 3.3 | 150 | 5.6 | 8.87 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 25年12月期2Q | 17,955,000株 | 24年12月期 | 17,955,000株 |
| 25年12月期2Q | 1,038,990株 | 24年12月期 | 1,039,015株 |
| 25年12月期2Q | 16,916,004株 | 24年12月期2Q | 16,916,035株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 7 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果などから、株価の回復や輸出環境に持ち直しの動きが見られ、企業収益は徐々に改善傾向にあるなど、明るい兆しが見え始めましたが、一方で海外景気の下振れなど、国内景気を下押しするリスクを抱えた状況であり、実体経済は依然として不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社におきましては、環境・社会の変化に対応したマーケティング活動に基づく製品開発と生産活動を行うとともに、営業力の強化に努め、経営資源の有効活用と継続的な原価低減、組織としての見える化改善活動により、新たな価値の創造と競争力の強化に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、マーケティング戦略に基づく製品開発を推進するとともに、顧客満足度の向上と生産効率の改善に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業においては、他社との差別化を図るため、設計仕様の見直しを行うとともに、営業提案力とコスト競争力の強化に努めてまいりました。

室内外装品関連事業においては、生産部門の加工、組立ラインの改善を図り、不適合の削減と品質の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,650百万円(前年同期比13.2%減)、営業利益は78百万円(前年同期比48.9%減)、経常利益は93百万円(前年同期比44.6%減)、四半期純利益は49百万円(前年同期比47.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[減速機関連事業]

当社の強みを活かした特殊減速機を中心に展示会へ出展し、他社との差別化をアピールするなど、積極的な販促活動を展開したものの、企業の設備投資が伸び悩むなど厳しい受注環境が続き、売上高は1,401百万円(前年同期比1.9%減)となりました。営業利益につきましても、原価低減と生産性の向上に努めましたが、33百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

[駐車場装置関連事業]

顧客のニーズに合わせた積極的な提案型営業を行い、改造・改修工事は堅調に推移いたしました。依然として新設需要の減少が続き、売上高は897百万円(前年同期比27.2%減)となりました。営業利益につきましても、継続的な原価低減に努めましたが、20百万円(前年同期比76.7%減)となりました。

[室内外装品関連事業]

「スライディングドア100」および「スライディングドア80」の受注が減少したことにより、売上高は350百万円(前年同期比9.9%減)となりました。営業利益につきましても、生産性の向上や原価低減に努めた結果、24百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

[資産]

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ210百万円減少し10,424百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が198百万円、未成工事支出金が47百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ231百万円減少し7,041百万円となりました。

固定資産は、主に保有株式の株価上昇により投資有価証券が35百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ21百万円増加し3,382百万円となりました。

[負債]

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ231百万円減少し1,195百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が68百万円、未払法人税等が73百万円、駐車場工事に係る前受代金や未払金等のその他流動負債が73百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ221百万円減少し926百万円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が4百万円増加した一方で、退職給付引当金が13百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ10百万円減少し268百万円となりました。

[純資産]

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ21百万円増加し9,228百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が23百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ1.9ポイント増加し88.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の当第2四半期会計期間末残高は、4,099百万円(前事業年度末4,297百万円)となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が198百万円減少したことによるものであります。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、118百万円の減少(前年同期は241百万円の増加)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益92百万円等による増加があった一方で、法人税等の支払額89百万円、仕入債務の減少額75百万円等による減少があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、23百万円の減少(前年同期は3百万円の増加)となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入20百万円等があった一方で、有形固定資産の取得による支出29百万円等があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、55百万円の減少(前年同期は54百万円の減少)となりました。

これは主に、株主配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、輸出が持ち直し、各種経済政策の効果などから、景気回復へ向かうことが期待されますが、海外景気の下振れなど、引き続き国内景気を下押しするリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

これらの状況を踏まえ、平成25年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成25年2月7日に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日) |
|-------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,297,764 | 4,099,081 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,439,755 | 1,441,963 |
| 製品 | 34,175 | 23,673 |
| 仕掛品 | 403,389 | 411,393 |
| 未成工事支出金 | 105,440 | 57,761 |
| 原材料及び貯蔵品 | 339,440 | 357,287 |
| その他 | 659,225 | 656,238 |
| 貸倒引当金 | △6,065 | △6,023 |
| 流動資産合計 | 7,273,126 | 7,041,375 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 2,303,958 | 2,307,246 |
| 減価償却累計額 | △1,586,658 | △1,609,380 |
| 建物(純額) | 717,299 | 697,866 |
| 機械及び装置 | 2,107,814 | 2,150,208 |
| 減価償却累計額 | △1,870,751 | △1,896,417 |
| 機械及び装置(純額) | 237,062 | 253,791 |
| 土地 | 1,557,896 | 1,557,896 |
| 建設仮勘定 | — | 412 |
| その他 | 907,939 | 911,834 |
| 減価償却累計額 | △817,782 | △825,007 |
| その他(純額) | 90,157 | 86,827 |
| 有形固定資産合計 | 2,602,416 | 2,596,793 |
| 無形固定資産 | 17,703 | 26,723 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 501,447 | 536,993 |
| その他 | 244,076 | 226,800 |
| 貸倒引当金 | △4,555 | △4,555 |
| 投資その他の資産合計 | 740,969 | 759,238 |
| 固定資産合計 | 3,361,088 | 3,382,754 |
| 資産合計 | 10,634,214 | 10,424,130 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 707,330 | 638,618 |
| 未払法人税等 | 98,335 | 24,764 |
| 引当金 | 38,592 | 33,380 |
| その他 | 304,168 | 230,226 |
| 流動負債合計 | 1,148,427 | 926,990 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 209,205 | 195,486 |
| 役員退職慰労引当金 | 47,240 | 51,470 |
| その他 | 22,842 | 21,983 |
| 固定負債合計 | 279,288 | 268,939 |
| 負債合計 | 1,427,715 | 1,195,929 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,507,500 | 2,507,500 |
| 資本剰余金 | 3,896,953 | 3,896,954 |
| 利益剰余金 | 3,027,511 | 3,026,032 |
| 自己株式 | △197,743 | △197,739 |
| 株主資本合計 | 9,234,221 | 9,232,747 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △27,722 | △4,546 |
| 評価・換算差額等合計 | △27,722 | △4,546 |
| 純資産合計 | 9,206,498 | 9,228,200 |
| 負債純資産合計 | 10,634,214 | 10,424,130 |

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 3,051,550 | 2,650,111 |
| 売上原価 | 2,468,203 | 2,105,032 |
| 売上総利益 | 583,347 | 545,078 |
| 販売費及び一般管理費 | 430,321 | 466,907 |
| 営業利益 | 153,025 | 78,171 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,561 | 2,192 |
| 受取配当金 | 6,018 | 6,170 |
| 保険配当金 | 2,296 | 3,541 |
| その他 | 6,179 | 5,571 |
| 営業外収益合計 | 17,055 | 17,475 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 1,770 | 2,053 |
| その他 | 322 | 481 |
| 営業外費用合計 | 2,092 | 2,534 |
| 経常利益 | 167,988 | 93,112 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 73 | 979 |
| 特別損失合計 | 73 | 979 |
| 税引前四半期純利益 | 167,915 | 92,132 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 73,636 | 16,986 |
| 法人税等調整額 | 1,361 | 25,877 |
| 法人税等合計 | 74,998 | 42,863 |
| 四半期純利益 | 92,916 | 49,268 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 167,915 | 92,132 |
| 減価償却費 | 75,944 | 68,188 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 192 | △41 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △1,495 | △5,212 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △4,053 | △13,718 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △870 | 4,230 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,579 | △8,362 |
| 固定資産除却損 | 73 | 979 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 6,527 | △37,298 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △54,264 | 32,328 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 26,727 | △75,562 |
| その他 | 77,076 | △95,239 |
| 小計 | 285,194 | △37,577 |
| 利息及び配当金の受取額 | 8,690 | 8,443 |
| 法人税等の支払額 | △51,967 | △89,836 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 241,917 | △118,970 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △18,298 | △29,898 |
| 貸付金の回収による収入 | 20,000 | 20,000 |
| その他 | 1,319 | △13,986 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 3,021 | △23,885 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △50,303 | △50,846 |
| その他 | △4,472 | △4,980 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △54,776 | △55,827 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 190,162 | △198,683 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,787,379 | 4,297,764 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,977,541 | 4,099,081 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|---------------|---------------|-----------|-------------|-------------------------|
| | 減速機 関連事業 | 駐車場装置 関連事業 | 室内外装品 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,429,378 | 1,233,184 | 388,987 | 3,051,550 | — | 3,051,550 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 43,918 | — | — | 43,918 | △43,918 | — |
| 計 | 1,473,296 | 1,233,184 | 388,987 | 3,095,469 | △43,918 | 3,051,550 |
| セグメント利益 | 43,330 | 86,390 | 23,305 | 153,025 | — | 153,025 |

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|---------------|---------------|-----------|-------------|-------------------------|
| | 減速機 関連事業 | 駐車場装置 関連事業 | 室内外装品 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,401,945 | 897,495 | 350,669 | 2,650,111 | — | 2,650,111 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 20,973 | — | — | 20,973 | △20,973 | — |
| 計 | 1,422,919 | 897,495 | 350,669 | 2,671,084 | △20,973 | 2,650,111 |
| セグメント利益 | 33,923 | 20,104 | 24,143 | 78,171 | — | 78,171 |

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。